

## 1 シリンダの分解

- ① 外観の清掃  
分解時にゴミや異物がシリンダ内に侵入しないように外観の汚れを取り除いてください。  
特にピストンロッド表面には、注意をお願いします。
- ② アーム等の取外し  
ロッド先端に装着しているアーム等を取外してください。
- ③ 六角穴付ボルトの取外し [φ25以上のみ] (図1)  
六角穴付ボルト (座金又はバネ座金付) を取外してください。
- ④ 止め輪の取外し (図2)  
適正なプライヤ (穴用C形止め輪用工具) に行ってください。  
また、取外しの際に止め輪がプライヤから外れて飛び、人体および周辺機器に損害を与えてしまう恐れがありますので注意してください。
- ⑤ 分解  
ピストンロッド先端部にボルト等を取付け、ロッドカバー Ass'y、キーと共に引抜き、その後ロッドカバー Ass'y をピストンロッド Ass'y から取外してください。  
その際、チューブ内径やロッドカバー軸受部に傷を付けないように注意してください。

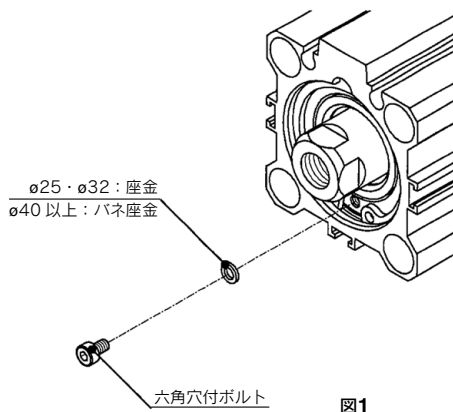


図1

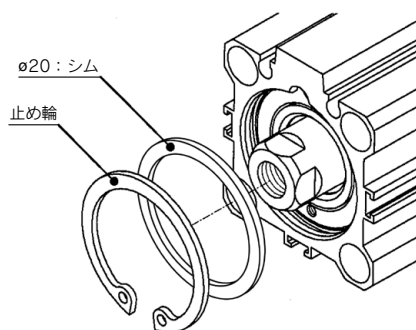


図2

## 2 パッキンの取外し

- ① コイルスクレーバの取外し  
ロッドカバー Ass'y 前面からコイルスクレーバを取外してください。  
その際、ロッドカバー Ass'y のコイルスクレーバ溝に傷を付けないように注意してください。
- ② ロッドパッキンの取外し  
ロッドカバー Ass'y 前面から精密ドライバーなどを差し込み抜き取ってください。  
その際、ロッドカバー Ass'y のパッキン溝に傷を付けないように注意してください。

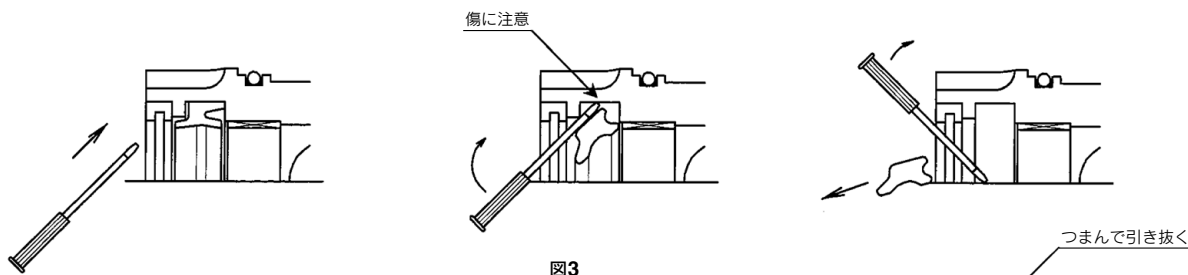


図3

- ③ ピストンパッキンの取外し  
ピストンパッキン溝は深いので精密ドライバーではなく、手でピストンパッキン周囲の一方から押し出すようにして、浮き出た所を引抜いてください。
- ④ チューブガスケットの取外し  
手で一方から押し出すようにして、浮き出た所を引き抜いてください (図4参照)。

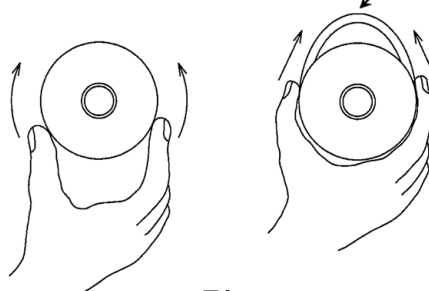


図4

アクチュエータ

モジュラコネクタ  
圧力制御機器

圧縮空気清浄化機器

工業用フィルタ

交換要領

アクチュエータ

モジュラコネクタ  
圧力制御機器

工業用フィルタ

## 3 グリースの塗布

- ① ロッドパッキンおよびピストンパッキンのグリース塗布 (図5)  
 交換用のロッドパッキンおよびピストンパッキンの全周にリチウム系グリース※を薄くムラなく塗布してください。  
 ※SMC推奨グリース:手配可(取扱説明書をご参照ください)。
- ② チューブガスケットのグリース塗布  
 交換用のチューブガスケットの全体にリチウム系グリース※を薄くムラなく塗布してください。  
 ※SMC推奨グリース:手配可(取扱説明書をご参照ください)。
- ③ 各部品のグリース塗布 (図6)  
 ロッドカバー Ass'y、ピストンロッド Ass'yおよびシリンダチューブ Ass'yの指定部にリチウム系グリース※を薄くムラなく塗布してください。  
 ※SMC推奨グリース:手配可(取扱説明書をご参照ください)。

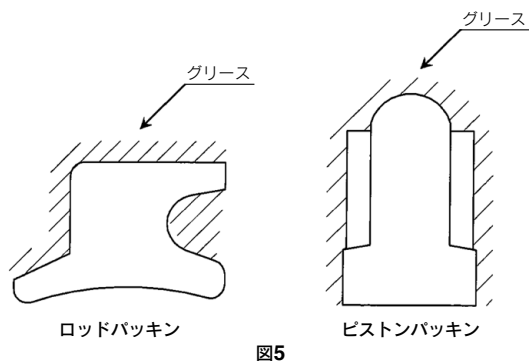


図5

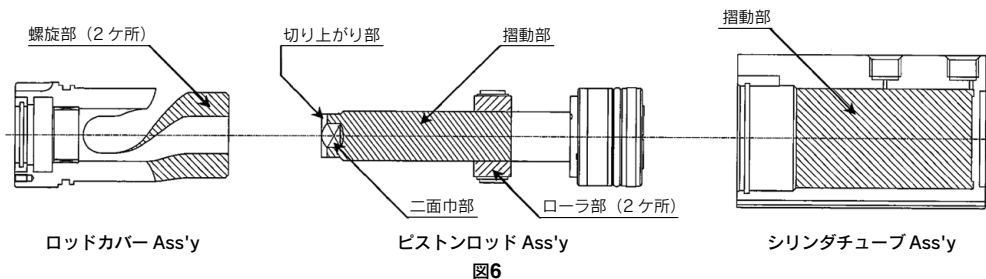


図6

## 4 パッキンおよびコイルスクレーパの装着

- ① ロッドパッキンおよびチューブガスケットの装着 (図7)  
 ロッドパッキンの方向を間違えないように装着してください。  
 チューブガスケットは、ロッドカバー Ass'yから脱落しないように装着してください。  
 装着後、ロッドパッキンと軸受部にリチウム系グリース※をムラなく塗布してください。  
 ※SMC推奨グリース:手配可(取扱説明書をご参照ください)。
- ② コイルスクレーパの装着  
 交換用のコイルスクレーパをコイルスクレーパ溝に確実に装着してください。
- ③ ピストンパッキンの装着 (図8)  
 ピストンパッキンがねじれないように装着してください。  
 装着後、リチウム系グリース※をピストンパッキン外周部と溝の間に塗り込むように塗布してください。  
 ※SMC推奨グリース:手配可(取扱説明書をご参照ください)。
- ④ チューブガスケットの装着  
 脱落に注意し、装着してください。

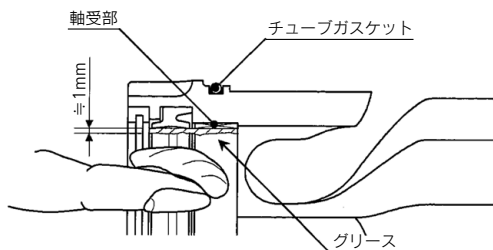


図7

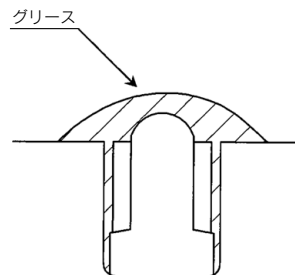


図8

## 5 シリンダの組立

### ① ロッドカバー Ass'yの挿入 (図9)

ピストンロッド Ass'yの角部でロッドパッキンを傷付けないようにゆっくり丁寧に挿入してください。

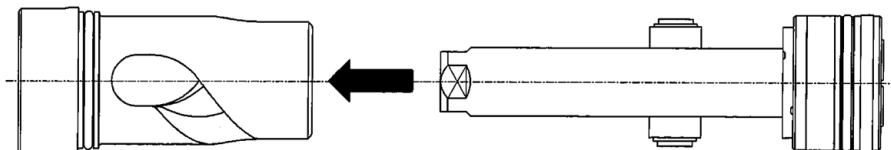


図9

### ② ピストンロッド Ass'yの挿入 (図10)

シリンダチューブ Ass'yの角部でピストンパッキンおよびチューブガスケットを傷付けないようにゆっくり丁寧に挿入してください。

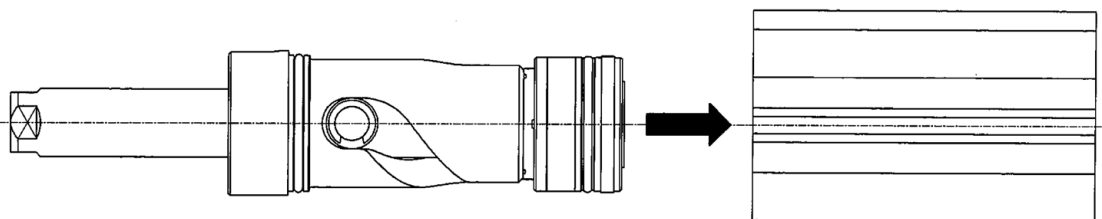


図10

### ③ キーおよび止め輪の装着 (図11)

キーをキー溝に挿入し、適正なプライヤ(穴用C形止め輪用工具)にて止め輪を装着してください。

その際、止め輪の方向を間違えないように装着してください。(φ20のみ止め輪装着前にシムを入れます。) 装着の止め輪がプライヤから外れて飛び、人体および周辺機器に損害を与えてしまう恐れがありますので、注意してください。

また、確実に止め輪溝に入っているかを確認してください。

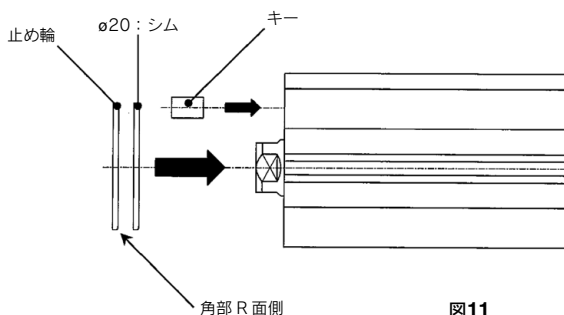


図11

### ④ 六角穴付ボルトの装着 [φ25以上のみ] (図12)

六角穴付ボルトのねじ部およびロッドカバー Ass'yのねじ穴部の接着剤をアルコール等できれいに落とした後、ロッドカバー Ass'yのねじ穴部に緩み止め用接着剤(SMC推奨接着剤: ロットタイト242[青])を塗布してください。

六角穴付ボルト(※φ25・φ32: 座金付 / φ40以上: バネ座金付)にて締付けてください。

締結後、接着剤がはみ出していないか確認してください。

はみ出した場合には、余分な接着剤を拭き取ってください。

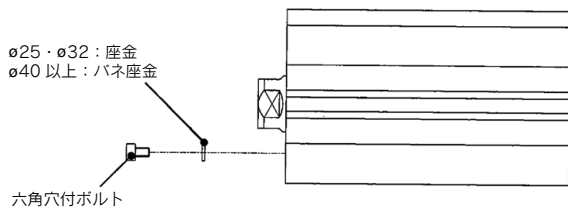


図12

### ⑤ 組立確認

パッキンシール部よりエア漏れが生じていないか、最低作動圧力でスムーズに作動するか確認をお願いします。

#### 締付トルク

適用ボア	ねじサイズ	締付トルク(N・m)
φ25・φ32	M2.5×0.45	0.36±10% (0.324~0.396)
φ40・φ50・φ63	M3×0.5	0.63±10% (0.570~0.690)